



「男女共同参画とは何か」を学ぶところからスタートした実習の最終ゴールはフェスタでの学びの発信でした。一人ひとりが「性別に関係なく、自分の力や個性が発揮できる社会にしていきたい」と熱い思いをもって盛り上げてくれました。



## 無意識の偏見

〜フェスタでの発表をふり返って〜

今回発表した劇では、「無意識の偏見」を題材にしました。「偏見」というと、肌の色が違ったり、家が裕福なのかそれとも貧しいのかというところに目がいて、自分とは疎遠なことから身について感じています。しかし、今回の実習で生まれてから身についた価値観で考える以前に、かつ無意識に行われる偏見を「無意識の偏見」と呼ぶことを知りました。また、男女共同参画をテーマにしたとき、普段使っているような言葉や行動にも「偏見」というものは潜んでいるのだと気づきました。例えばランドセルの色であったり、習い事であったり様々です。おそらく言った本人は悪気があったわけはなく、また差別する意図はないのだろうと思います。しかし、言われた側はよく覚えていることが多いです。問題なのは、この「無意識の偏見」が日常にあふれていることです。今回私たちは男女共同参画について何も学んでいない人に比べれば「無意識の偏見」について知ったつもりです。今回の劇を見てくださった皆様と私たちで少しでも男女共同参画について考え、より素敵な地域、日本にしていければと思っています。

(滋賀大学社会教育実習生)



手話歌シンガーのyokkoによるステージでは、歌に合わせた手話を行うことで

さん×ジンケンダーにさせて手話を行うことができました。



女性の起業応援センターのメンバーでもある清香88さんによるミニリサイタルショーでは、素敵な歌声が会場に響き渡りました。

# G-NETしがフェスタ

みんなで笑顔になろう!2021



11月28日、『G-NETしがフェスタ2021』を開催しました。メインステージでは、マジックパ。代表和田のりあきさんを講師にお招きし、マジックショーとともに「しがパママスクール」でも大人気の親子遊びをご披露いただき、その後、『笑ってる家族がええやん!子どもの「生きる力」を伸ばす関わり方』をテーマにご講演いただきました。



ステージ発表、体験、啓発展示、バザーや販売、ワークショップ、クイズラリーにゲームコーナーなど、新型コロナウイルス感染症予防をしながらの出演となりましたが、どの団体も工夫を凝らし、学びあり楽しみあり癒しありの企画により、ご来場の皆様に喜んでいただきました。



今の子どもたちに必要なことは、成功体験と失敗体験。『身近な大人』の役割は、子どもたちが安心してうまくいかない経験ができる場を提供すること。

これからの社会を担う子どもたちの「生きる力」を高めるために必要なことを教えていただきました。